

今シーズン初確認！！

北海道の死亡野鳥において高病原性鳥インフルエンザウイルス検出

令和7年 10 月 15 日に北海道苫小牧市で回収されたオオタカの死亡個体において、10 月 17 日に高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5亜型)が検出されました。

今シーズン1例目の野鳥における高病原性鳥インフルエンザ確認事例となります。

今シーズンも、十分な警戒が必要です！

発生予防対策の徹底をお願いします。

<参考> 令和6年度

高病原性鳥インフルエンザウイルス確認1例目

○死亡野鳥： 9月30日(北海道乙部町)

○家きん： 10月17日(北海道厚真町)



※令和7年10月9日に宮城県で回収され、A型鳥インフルエンザ遺伝子検査陽性となったマガンは、高病原性鳥インフルエンザではありませんでした。

<特に以下の予防対策の点検を早急に再確認してください>

- 飼養家きんの毎日の健康観察
- 異常家きん確認時の早期通報の徹底
- 農場・家きん舎周囲への消石灰散布、
農場出入時の人・モノ・車両消毒の徹底
- ねずみ・害虫の駆除及び家きん舎内への侵入防止対策のための防鳥ネット・壁・
金網等の破損箇所の再確認と修繕
- カラス等を誘引する死亡鶏、破卵、餌の食べこぼし等の適切な処分

飼養衛生管理に関する
動画はこちらから



農場の近隣に池や沼等がある場合は、さらに注意してください！！

☆ 死亡の増加はなくとも、産卵率低下、食欲不振、元気消失等の普段とは異なる症状を認める場合は、家畜保健衛生所へご連絡ください。

県央家畜保健衛生所 TEL:028(689)1200 FAX:028(689)1279 (夜間・休日) 090-7205-0895
県南家畜保健衛生所 TEL:0282(27)3611 FAX:0282(27)4144 (夜間・休日) 090-7205-1402
県北家畜保健衛生所 TEL:0287(36)0314 FAX:0287(37)4825 (夜間・休日) 090-7205-1826